

予 算 審 査 特 別 委 員 会

平成29年3月14日（火曜日）

1. 開 会

1. 開 議

1. 予算審査特別委員会委員長の選任

1. 予算審査特別委員会委員長の挨拶

1. 予算審査特別委員会副委員長の選挙

1. 議案第24号の総括説明

1. 延会について

1. 延 会

午前11時29分開会

出席委員（13名）

竹中弘光君	佐々木敏雄君
佐々木みさ子君	稲葉定君
大友啓一君	只野順君
後藤洋一君	久勉君
杉浦謙一君	門田善則君
大泉治君	鈴木英雅君
遠藤稔雄君	

欠席委員（なし）

説明のため出席した者の職氏名

町長	大橋信夫君	副町長	佐々木忠弘君
総務課長 参事兼課長	渡辺信明君	総務課 上席副参事	達曾部義美君
企画財政課長 参事兼課長	今野博行君	まちづくり推進課長	小野伸二君
まちづくり推進課 企業立地推進室長	大崎俊一君	税務課長	泉沢幸吉君
町民生活課長	高橋由香子君	町民医療福祉センター センター長	青沼孝徳君
町民医療福祉センター 副センター長	高橋宏明君	町民医療福祉センター 総務管理課長	浅野孝典君
町民医療福祉センター 福祉課長	牛渡俊元君	町民医療福祉センター 健康課長	熊谷健一君
農林振興課長	遠藤栄夫君	建設課長	佐々木竹彦君
上下水道課長	平茂和君	会計管理者兼 会計課長	佐々木健一君
農業委員会会長	畑岡茂君	農業委員会 事務局会長	瀬川晃君
教育委員会教育長	笠間元道君	教育総務課 参事兼課長 兼給食センター所長	木村敬君
生涯学習課長	藤崎義和君	代表監査委員	遠藤要之助君

事務局職員出席者

事務局長	高橋貢	総務班長	木村智香子
再任主査	高橋正幸	主事	日野裕哉

◎開会の宣告

(午前11時29分)

- 議長（遠藤稔雄君） ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。
直ちに会議を開きます。

◎予算審査特別委員会委員長の選任

- 議長（遠藤稔雄君） ここで、予算審査特別委員会の委員長を選任しなければなりません。前例に従い、各常任委員長持ち回りと決したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

- 議長（遠藤稔雄君） 異議なしと認めます。
よって、今回は教育厚生常任委員会の久 勉委員長をお願いを申し上げます。
暫時休憩いたします。

休憩 午前11時29分

再開 午前11時31分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

〔議長、委員長と交代〕

- 委員長（久 勉君） 休憩を解いて再開いたします。

◎予算審査特別委員会委員長の挨拶

- 委員長（久 勉君） 予算審査特別委員会開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

平成29年度浦谷町一般会計並びに特別会計の予算審査に当たり、スムーズに進行することをお願い申し上げます。議員の皆様方には限られた日数の中で効率よく行うために、質疑は的確に簡潔にお願いします。

そして、参与の皆様方には要領よく答弁されますようご協力をお願い申し上げます。私の挨拶とさせていただきます。

◎予算審査特別委員会副委員長の選挙

- 委員長（久 勉君） これより副委員長の選挙を行います。

選挙の方法は指名推選にしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（久 勉君） 異議なしと認めます。

お諮りいたします。

指名の方法については、委員長において指名推選をしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（久 勉君） 異議なしと認めます。

よって、委員長において指名することに決しました。

副委員長には杉浦謙一君を指名いたします。よろしく願いいたします。

暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

休憩 午前11時32分

再開 午後 1時00分

〔出席議員数休憩前に同じ〕

○委員長（久 勉君） 再開します。

◇

◎議案第24号の審査

○委員長（久 勉君） ただいまから平成29年度の各会計の予算説明に入るわけですが、各会計ごとに歳入歳出の説明、質疑、討論、採決を行いたいと思います。

これより審査に入ります。

まず、本委員会に付託されました議案第24号 平成29年度涌谷町一般会計予算の審査を行います。

それでは、歳入歳出の総括説明を求めます。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） それでは、議案第24号 平成29年度涌谷町一般会計予算の総括説明をいたします。

平成29年度一般会計予算書並びに予算に関する説明書をご用意ください。

1ページをお願いいたします。

第1条では、総額を68億4,638万4,000円と定めております。

第2条では、債務負担行為ができる事項等を定めております。

6ページにございます第2表債務負担行為として記載しております6件となっております。

第3条では、地方債について定めておりますが、7ページをごらんいただきたいと思いますが、第3表に記載してございます15件、5億7,705万1,000円となっております。起債の目的につきましては、起債メニューによる掲載となっております。農業生産基盤整備事業につきましては、県営圃場整備事業、道路整備事業

につきましては、笹岳山線、学童保育施設改修事業及び学童保育施設石綿除去事業につきましては、小里笹岳学童クラブに係るもの、地方道路整備事業につきましては、大崩小里線設計ほか4件、緊急避難道路整備事業につきましては、沢1号線改修事業に充当する起債でございます。また、臨時財政対策債につきましては、地方財政の財源不足を補填する赤字地方債ではございますが、元利償還額につきましては、後年度に全額交付税措置がなされるものでございます。借換債につきましては、銀行等から借りております10年物につきまして、借りかえをするものでございます。事業内容につきましては、それぞれ歳出科目においてご説明をいたします。

戻っていただきまして、第4条でございます。一時借入金の最高額を2億円と定めております。

第5条におきましては、経費の流用につきまして、給料、職員手当、共済費に係る予算額については、同一款内での流用ができることとしております。

それでは、A3判の資料3、平成29年度一般会計当初予算に関する資料の1ページをお開きください。

この資料につきましては、総務省自治財政局が2月に作成いたしました平成29年度の地方財政計画のポイントの抜粋でございます。

国におきましては、平成29年度の地方財政対策に当たっては、経済財政再生計画の2年目に当たり、財政健全化への着実な取り組みを進める一方、一億総活躍社会の実現のため、子育て、介護など重要な政策課題について必要な予算措置を講じるなど、めり張りの効いた予算編成を目指す方針で予算編成がなされております。

1 通常収支分でございますが、地方が一億総活躍社会の実現や地方創生、公共施設等の適正管理等に取り組みつつ、地方の一般財源総額について、平成28年度地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保することを基本として地方財政対策を講じることとし、(1)として一般財源総額の確保等ということになっております。

1つ目として、一般財源総額については、平成28年度国税が減額補正される中、また消費税の増税は延期されましたが、社会保障の充実については行うということで、それらを確保しながら平成28年度を0.4兆円上回る62兆1,000億円程度を確保しているものでございます。

2つ目として、交付税の原資を最大限確保するとしておりますが、交付税特化への償還繰り延べ等、ありとあらゆる手段を講じて交付税16兆3,000億円を確保し、臨時財政対策債の額を3,000億円の増額に抑えているということでございます。それらを踏まえまして、下のほうに書いてございます起債の額となったものでございます。

(2)として、公共施設等の適正管理の推進等でございます。

1つ目として、現行の公共施設等最適化事業債に長寿命化事業、立地適正化事業、市町村役場機能緊急保全事業等を追加し、公共施設等適正管理推進事業費として組み替えを行ったものでございます。

2つ目として、一億総活躍社会関連施策としまして、政府として重点を置いて取り組むべき事項として、保育士、介護士等の人材の処遇改善に対して経費を計上しております。

3つ目として、まち・ひと・しごと創生事業について、引き続き1兆円を確保しております。

4つ目として、地方から強い要望をしておりました緊急防災・減災事業費を拡充して4年間延長されることとなりました。

(3)として、歳出特別枠の見直しでございます。

平時モードへの切りかえを進めるため、特別枠から所要の額を要し、平成29年度につきましては、地域経済基盤強化雇用等対策費分を確保したものでございます。

2 東日本大震災分の震災復興特別交付税でございますが、平成28年度同様確保されております。右側につきましては、主な歳入歳出の概要が記載されておりますが、平成29年度の地方財政計画の総額につきましては86兆6,000億円となるものでございます。

それでは、2ページをお開きください。

平成29年度の涌谷町の一般会計予算ですが、歳入について、対前年度比較と主な増減内容につきましてご説明申し上げます。

町税につきましては、対前年度2,464万8,000円、1.7%の増となっております。個人町民税、固定資産税、軽自動車税は増額ですが、法人町民税、たばこ税につきましては減額となっております。詳細につきましては、後ほど税務課長のほうからご説明申し上げます。

2 地方譲与税等につきましては、地方財政計画の増減率により増額を見込んでおります。

3 利子割交付金から6 地方消費税交付金までは、県の試算等により計上しております。

7 ゴルフ場利用税交付金は、利用状況の見込みにより計上しております。

8 自動車取得税交付金及び9 地方特例交付金は、地財計画により計上しております。

10 地方交付税につきましては、地財計画ではマイナス2.2%となっておりますが、普通交付税につきましては、算入地方債の償還等が完了したことにより2,000万円の減額、特別交付税におきましては、大崎地域広域行政事務組合事業分が見込まれることから、3,841万3,000円の増額を見込んでおります。交付税総額では1,841万3,000円、0.7%の増となっております。

12 分担金及び負担金につきましては、圃場整備事業負担金等により269万5,000円、5.9%の減となっております。

14 国庫支出金につきましては、保育給付費負担金、自立支援費負担金等で増額となったものの、東日本大震災復興交付金臨時福祉給付金事業費補助金、社会資本整備総合交付金などで大幅な減額となり、総額で2億2,874万4,000円、33.1%の大幅な減額となりました。

15 県支出金におきましては、農地集積集約化対策事業補助金、農村漁村活性化プロジェクト支援交付金などで減額ですが、自立支援費負担金、多面的機能支払交付金等で増額となり、295万5,000円、0.6%の増でございます。

16 財産収入につきましては、黄金山工業団地の売り払い収入として1区画を計上しておりますが、昨年度から比べますと1億1,123万7,000円、72.2%の減となっております。

18 繰入金につきましては、土地開発基金からの繰入金の増、財政調整基金、震災復興基金からの繰り入れが減となり、1,436万5,000円、4.9%の減となりました。

20 諸収入につきましては、地域振興公社貸付金返還金、長寿健康増進事業交付金等により4,555万4,000円、25.7%の増でございます。

21 町債につきましては、辺地対策事業債等で減となったものの、圃場整備、大崎消防庁舎整備などで増となり、7,038万6,000円、13.9%の増でございます。

なお、起債につきましては、後年度交付税による財政措置等があるものを極力活用するようにしております。

3 ページをお開きください。

歳出をご説明申し上げます。

歳出につきましては、性質別で対前年度比較と主な増減内容についてご説明申し上げます。

まず、義務的経費のうち、1 人件費につきましては、1,734万1,000円、1.4%の増でございますが、後ほど総務課長からご説明申し上げます。

2 扶助費につきましては、1,308万円、1.7%の増でございますが、児童手当、保育委託料等で減となりましたが、障害者自立支援扶助費、子ども医療費で増となったものでございます。

公債費につきましては、1 億1,400万円、11.6%の大幅な減でございますが、黄金山町有地分等で減額となったものでございます。

4 物件費につきましては、1,135万9,000円、1.1%の増でございますが、標準宅地鑑定評価、観光計画策定、スクールバス委託料等で減となりましたが、地域おこし協力隊、臨時保育士賃金、出来川左岸圃場整備地形図作成等で増となったものでございます。

5 維持補修費につきましては、2,048万3,000円、50.1%の増でございますが、町道維持補修、沢住宅解体、月将館小学校プール補修などで大幅な増となったものでございます。

6 補助費等につきましては、9,997万4,000円、6.7%の減でございますが、多面的機能支払交付金、地域ブランド米創出事業補助金、就学応援交付金で増となりましたが、後期高齢者負担金、臨時特例給付金などで減となったものでございます。

投資的経費でございますが、7 普通建設事業費につきましては、4,346万円、11.1%の減でございます。補助事業につきましては、生栄巻大橋補修事業によって大幅な減額、単独事業につきましては、道路改良、大崎の消防庁舎整備、圃場整備等により大幅な増となっております。

9 積立金につきましては、1,252万2,000円、17.8%の減でございますが、減災基金積立金が増となりましたが、震災復興基金積立金が減となったものでございます。

11 貸付金につきましては、204万円、2.2%の減でございますが、看護師奨学金で増となりましたが、教育奨学資金で減となったものでございます。

12 繰出金につきましては、82万7,000円、0.1%の減でございますが、介護事業、農集排事業への繰り出しで増となったものの、国保事業、公共下水道事業への繰り出しで減となったものでございます。予備費につきましては、1,000万円を計上するものでございます。

以上、歳入歳出それぞれ総額68億4,638万4,000円となり、対前年度2億1,849万9,000円、3.1%の減となるものでございます。

以上で歳入歳出の総括説明を終わらせていただきますが、続きまして、町財政の現状についてご説明を申し上げます。

5 ページをお開きください。

各表につきましては、年度ごとに記載をしておりますが、より決算に近い数字ということで、平成28年度につきましては、現計予算を記載しております。

まず、左の上の町税収入、地方交付税及び地方一般財源についてですが、そのうち町税につきましては、平成27年度まではよくなってきておりますけれども、今後は先行き不透明な状況であり、地方交付税につきましても、今後の増額はなかなか見込めない状況でありまして、さらに厳しい財政運営になっていく可能性があります。

続きまして、左側の経常的経費の状況につきましてでございますか、一般財源と経常的経費の比較をしているグラフと表でございます。

黒の一般財源の計が、グレーの経常的経費よりも大きければ大きいほど財政に余裕があるということでございます。平成29年度は一番右側になりますが、平成25年度以外は経常的経費が一般財源を上回っている状況でございます、その歳入不足分を基金の取り崩し等により補っているという要因の1つとなっております。

投資的経費につきましては、年々減少傾向でございます。

続きまして、右側の下の部分、年度末基金残高の財政調整基金の欄をごらんください。

平成28年度の現計は、7億386万円となっておりますが、29年度当初予算編成後では5億8,736万円となっております、また、全ての基金残高では、平成24年度の約半分となっております。これは、当初予算や年度途中で、町政運営上必要な経費について、財源不足を基金で対応した結果ですが、今後も同様の財政運営が予想されることから、基金残高をこれ以上減らさないために庁内、または町全体でもそれぞれ考えながら、危機感を持って対応していかなければならないと考えております。

6ページをお開きください。

目的別の歳出ですが、近年では、商工費につきましては黄金山の造成事業、土木費は災害公営住宅等震災関連事業による増減となっております。その他はほぼ同水準となっております。

その下の公債費でございますが、平成27年、28年度の借り入れにつきましては、黄金山の造成事業、あるいは箕岳中学校のアスベスト等の起債によって多くなっておりますが、今後毎年度の借入金を5億円程度に抑えることによりまして、地方債の年度末現在高を徐々に減らしていくことは可能と考えます。

続きまして、7ページをお開きください。

公営企業会計等に対する繰出金、負担金及び出資金等でございますが、この表とグラフは、一般会計から他会計に支出する額でございます。平成29年度当初予算では、全体として平成28年度現計よりも減少しておりますが、介護、公共下水道、農集排等は増額しておりますけれども、病院会計につきましては、当初予算比較ではほぼ同額ですが、現計予算との比較では1億6,929万5,000円の減額となっております。特別会計の収支不足は、結局は一般会計で補填されることとなりますので、それらも財政硬直化の要因となりますので、注意が必要だと考えております。

また、平成28年度以降、大崎地域広域行政事務組合の消防本部の建てかえ、斎場熱回収施設等の建てかえという大型建設事業による負担金支出の増加も見込まれておりますことから、今後とも一部事務組合も含めた形の中で収支を見ていく必要があります。

なお、8ページから10ページに、負担金補助交付金に関する調べを掲載してございますので、後ほどごらんください。

以上、歳入歳出の総括説明を終わります。

次に、町税について、税務課長から申し上げます。

○委員長（久 勉君） 税務課長。

○税務課長（泉沢幸吉君） それでは、町税についてご説明申し上げます。

一般会計予算書の12ページ、13ページからになります。

項目の説明に入る前に、平成29年度の町税の歳入予算の試算に当たり、考え方を申し上げます。

月例経済報告や全国地方銀行協会の地方経済調査を参考にさせていただいております。全国地方銀行協会が発表した2月の地方経済天気図によりますと、東北の景況は、先行き緩やかな持ち直しが続くと見られており、具体的には個人消費では乗用車販売が増加したほか、コンビニ販売も増加、緩やかな持ち直し、住宅建築は持ち家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少、設備投資は製造業の一部で投資を積み増す動きが見られるものの、全体では横ばい、公共工事は横ばい、輸出は一般機械、米国向け輸送機械、アジア向け紙、板紙が増加し持ち直し、生産活動は、輸送機械、電子部品、デバイスが増加し持ち直し、雇用は製造業、建設業、医療福祉等で新規求人数が増加し、回復に向けた動きという状況にあるようでございます。

以上のようなことから、平成28年度の課税状況調査等を参考に若干の修正をさせていただき、歳入予算を積算しておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

それでは、町税全体の総額からご説明いたします。

総額では、14億4,978万5,000円、前年度に比べ2,464万8,000円の増額、1.7%の増額と試算したところでございます。その内訳といたしまして、町民税の個人につきましては、13ページになりますが、現年課税分といたしまして4億8,280万円。前年度当初と比較いたしますと、1,646万2,000円で、3.5%の増額となったところでございます。このことにつきましては、給与所得者、営業、農業その他において、それぞれにおいて納税義務者、所得の微増が見込まれます。特に農業所得については、ここ三、四年大きく変化しておりまして、稲作の兼業農家が離農し、中間管理機構を通し認定農家等へシフトされており、今後もこの傾向が続くと思われ、集積した認定農家等の所得の増加が期待されるところでございます。

次に、法人につきましては、現年課税分で7,680万円、前年度比455万7,000円、5.6%の減と見込んでおります。法人税につきましては、企業の景況感が緩やかな持ち直しの動きとなっておりますが、一部に弱目の動きも見られることから、法人税割を減額試算したところでございます。

次に、固定資産税についてご説明いたします。

固定資産税につきましては、現年度課税分で6億7,690万円で、前年度に比べ1,730万円、2.6%の増額を見込んだところです。その内容でございますが、土地につきましては、農地、山林からの宅地並み課税が見込まれるものと負担調整による微増。家屋につきましては、新規課税分として、平成28年中に新築した分と平成25年の新築分で3年間の軽減特例が終わり、今年度から通常課税になる分の増額でございます。

償却資産につきましては、設備投資や生産はおおむね横ばいで、町内企業でも大きな変化が見られないと想定し、試算したところでございます。

次のページ、14ページ、15ページになります。

国有資産等所在市町村交付金及び納付金につきましては、70万5,000円を見込んでおります。県営涌谷中島住宅、田町裏、下町の3つの県営住宅が主なものでございます。

次に、軽自動車につきましては、現年課税分で4,790万円、前年度比で250万円、5.5%の増額を見込んでおります。軽自動車の乗用と貨物、軽トラックについて税率改正され、重課される分でございます。

次に、町たばこ税につきましては、1億4,330万円で、前年度比775万7,000円の減額となっております。

次に、各税目の滞納繰越分につきましては、前年度の収入状況から試算を行い、計上しております。

収納率について申し上げますが、前年の収納実績に1%ないし2%上昇させることを目標設定しております。また、県で組織している地方税滞納整理機構へ職員を1人派遣しておりますが、そこと連携をとりながら、特に不動産関係の滞納整理を強化し、現在も好成績をキープしておりますが、さらにその成績を上回るように職員一丸となって、今年度の額14億5,000万円ですけれども、税収の確保と滞納額の縮減、収納率の向上のため、使命感と情熱を持って法令で規定された権限を駆使して取り組んでまいりたいと考えております。

以上、税収の説明を終わります。

○委員長（久 勉君） 次に、人件費について総括説明を求めます。総務課長。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 続きまして、人件費の説明をさせていただきます。

先ほどのA3判の会議資料3の11ページをお開き願います。よろしいでしょうか。

職員人件費につきましては、私の総括説明をもちまして一般会計及び各種特別会計の職員人件費の説明を省略させていただきます。

まず、この表でございますが、各項目2段書きになっております。上段の白い部分が平成28年度当初、それから、下段の網かけの部分が平成29年度当初の数値となっております。さらに、網かけの部分には2つの数値が並んでおりますが、左側の数値につきましては前年度数値との比較、右側の数値が29年度の数値となっております。

それでは、1の一般会計から順に説明いたします。主に下段の網かけの部分で説明させていただきます。

まず、一般会計の議長、副議長、議員の欄をごらんください。

給与費の職員手当等で102万円の増で、1,190万8,000円となっておりますが、これにつきましては、昨年改正されました期末手当の支給率引き上げによるものでございます。右端の合計でございますか、職員手当が増額となったことで、合計で6,568万6,000円となっております。

次の町長、副町長、教育長の欄で、前年度と比較しまして、人数が1人増となっておりますが、これは教育長が特別職になったことによる増でございます。給料、職員手当、共済費等の増額はそれぞれ教育長分の増でございます。このうち職員手当には、町長、副町長、それから教育長の期末手当の支給率の引き上げ分も含まれております。合計といたしまして、1,173万9,000円増の4,269万6,000円となるものでございます。

次に、その他特別職でございますが、前年度と比較しまして、人数で5人減の677人、総額では327万4,000円減の7,571万3,000円となっております。平成29年度は前年度と比較しまして、地方創生委員や農業委員会の制度改正による農地利用適正化推進委員、都市計画審議会委員等で増員となりますが、参議院議員選挙での選挙立会人や農業委員会委員、観光振興基本計画策定委員、それから小学校校医で減となり、全体として減額となったものでございます。

その下の一般職員でございますが、人数については、新規採用職員の増や教育長の減等、平成28年度中の異動等を差し引き、1人増の170人となり、予算額につきましては、給料では、給与改定により513万4,000円増、

職員手当等におきましては、勤勉手当の支給率の引き上げ等により670万1,000円の増、共済費では、共済掛金の算出方法の変更等により397万9,000円の減額となりまして、合計では785万6,000円増の11億1,727万9,000円となっております。

一般会計の合計といたしましては、人数で、3人減の863人、金額につきましては、1,734万1,000円増の13億137万4,000円となるものでございます。

次に、3介護保険事業勘定特別会計をごらん願います。

その他特別職で2名の減となっておりますが、これは介護保険計画策定委員で5名増となりましたが、地域ケア会議委員で7名の減があり、総じて2名減となったものでございます。

一般職につきましては、社会福祉士1人の増によるものでございまして、介護保険特別会計全体の計といたしましては、758万9,000円増の5,556万1,000円となるものでございます。

次に、6国民健康保険病院事業会計を見ていただきたいと思いますが、一般職員1名増となっておりますが、これは医師1名の増によるものでございます。金額につきましては、病院事業会計全体で、前年度と比較しまして4,524万9,000円増の9億7,721万4,000円となるものでございます。

次の、7老人保健施設事業会計におきましては、一般職員で3名の増となっておりますが、介護員2名の新規採用者と同じく介護員ですけれども、会計間の移動による増でございます。金額につきましては、合計で1,214万5,000円増の2億2,314万3,000円となっております。

次の8訪問看護ステーション事業会計におきましては、一般職員で1名の減となっておりますが、これも会計間の移動による減でございまして、合計で539万4,000円減の4,488万1,000円となっております。

ただいま説明をいたしました中で、除きました2国民健康保険事業勘定特別会計、4公共下水道事業特別会計、5水道事業会計につきましては、人数は前年度と同じですけれども、職員の異動等及び給与改定等によりそれぞれ金額が減額となっております。

一番下の人件費全体といたしましては、人数で1人減の1,077人、金額では、7,106万5,000円増の26億8,362万8,000円となったものでございます。

次のページ以降につきましては、非常勤特別職等の内訳等となっておりますので、後ほどご参照願います。

以上で人件費の説明を終わります。

○委員長（久 勉君） これより議案第24号 平成29年度涌谷町一般会計予算の歳出の説明を求めます。

各款の説明につきましては、新規事業あるいは重点事業に絞って、また施政方針との関連があるものについて説明をいただきます。経常経費につきましても同様にお願いいたします。

各課、順次説明願います。

○議会事務局長（高橋 貢君） 1款1項1目議会費、議会管理運営経費につきましては、年間の議会運営等に関する費用についてお願いするものでございます。昨年に比べまして111万1,000円の増となっておりますが、増額となっておりますのが、3節職員手当等の期末手当、8節新規の報償金、講師謝礼の10万円となっております。3節職員手当等の期末手当102万円の増なんですけど、こちらは平成27年12月に昨年は選挙があったために新たに議員になられた議員の皆様につきましては、期末手当の積算期間に減額期間が生じておりましたが、今年度はその減額期間がなくなったために増額となったものでございます。以上でございます。

○委員長（久 勉君） 総務課長。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） それでは、議会費の次、2款総務費でございます。52ページ、53ページをお開き願います。

2款総務費の細目2一般管理経費でございます。ここでは役場内の全般的な管理に要する費用を計上しておりますが、今年度は総じて4,076万1,000円をお願いするものでございまして、前年度より489万7,000円増額となっております。前年度と比較いたしまして、増額となった主なものとして、9節旅費②普通旅費で、340万円でございますが、前年度と比較しまして40万円の増となっております。内容といたしましては、デンマークソロー市への表敬訪問2名分を計上いたしましたものでございます。10節①町長交際費におきましては、これまでの実績を考慮いたしまして、20万円減額し、280万円を計上いたしております。また、行革大綱の中でも説明いたしましたが、経費縮減策の1つとして、これまで各課で購入しておりました消耗品のうち、役場内各課で購入するもののうち、補助対象事業以外のものということでの共通消耗品については総務課で一括管理を行うこととし、前年度と比べて65万円増の290万円を計上しております。次に、12節①通信運搬費につきましては、後納郵便料の増額、それから税務課等での個人宛ての配付物の増により300万円増の700万円を計上いたしております。13節①委託料のうち、ふるさと納税事務委託料につきましては、今回の3月補正で寄附額210万円の減額をお願いしたところでございますが、当初におきましては前年度当初と同額を見込み計上いたしております。

次のページ、54ページ、55ページをお開き願います。

14節使用料及び賃借料でございますが、このうち下のほうにあります要綱集管理システム及び法令検索システムを新たに導入し、例規集に掲載されていない要綱等の管理や各種法令集をパソコン上で検索できるようするためのもので、それぞれ増額となっております。

細目3、下のほうにありますけれども、職員研修経費につきましては、自治体職員としての自覚を涵養し、職務能力の向上と人材育成とを結びつけた実務研修を行い、組織力の向上、町民サービスの向上を図るものでございます。これにつきましては、事業概要の3ページのほうに掲載しております。9節旅費で、69万6,000円でございますが、階層別研修派遣対象職員の減や私用車から公用車の利用ということを進めまして、前年対比で23万6,000円の減となっております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 2目文書広報費でございますが、事業概要は4ページでございます。

広報わくや、ホームページ作成等に係る経費を計上しております。対前年度10万3,000円の減額となりましたが、これは、備品購入費の広報用カメラに係る減でございます。終わります。

○会計管理者兼会計課長（佐々木健一君） 56ページ、57ページをお開き願います。

3目会計管理費、細目1会計事務経費でございますが、前年度より5万1,000円の増額となっております。前年度の手数料につきましては、今年度は委託料に組み替えしたため、委託料が増額となっております。

なお、委託料では、マイナンバー記載の源泉徴収票等を作成するために業務委託料を計上いたしております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 4目1管財一般経費でございますが、こちらのほうの各科目に分かれておりました12節役務費3保険料、町有建物災害保険料につきまして、今まで一般会計各科目に分けておりま

したものを一括計上いたしたものの増、それから13節委託料の特殊建築物定期報告業務委託料、こちらのほうがふえたものでございます。また、健康文化複合温泉施設指定管理料及びわくや万葉の里指定管理料につきましては、2施設の総額につきましては、地域振興公社と協議をいたしまして、昨年度同額を計上しております。終わります。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 次に、細目2庁舎管理経費でございます。本庁舎敷地内の土地建物や設備全般についての管理、修繕等を行う経費でございます。本年度は前年と比較しまして228万円の増額となりましたが、主な要因といたしましては、次のページ、58、59ページの15節工事請負費の西庁舎トイレ洋式化改修工事に伴う増額でございます。事業概要につきましては、5ページに掲載しております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 5目1企画調整経費でございますが、こちらのほうにつきましては、大崎地域広域行政事務組合の総務分の負担金、建町記念式、交流等にかかわる経費を計上しております。対前年度約770万円の減額となっておりますが、大崎地域広域行政事務組合の総務分の負担金として減額になったものが主なものでございますが、その減額の理由につきましては、総務費負担分からそちらのほうに対しまして広域の財政調整基金を充当したことにより、約700万円の減額となったものでございます。また、昨年度まで2款1項14目にその他諸費に計上しておりました国際交流、北方領土、日本非核宣言関係の負担金及び補助金につきましては、本年度からこの科目で計上いたしております。

2財政管理経費につきましては、財務会計システム等運用経費でございますが、対前年度188万5,000円の増額となっております。これは、公会計財務諸表作成支援行政委託料等の分が増の主な要因でございます。

60ページ、61ページお願いいたします。

3基金管理経費につきましては、それぞれ利子分について計上しておるものでございます。

なお、本予算可決後のふるさと涌谷創生基金の残高は7,090万4,000円、震災復興基金につきましては1億2,715万1,000円となるものでございます。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 60ページ、61ページでございます。

続きまして、細目4情報化推進経費でございます。今年度は4,413万9,000円ということで、前年度と比較しまして207万5,000円の増となっております。内容といたしましては、12節②の手数料のうち、地図情報システムのアップグレードのための保守手数料やその下にあります光ファイバー保守管理手数料の増額。それから19節③で、新規の負担金といたしまして、県情報セキュリティクラウド負担金の増額が主な要因となっております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 62ページ、63ページにまいります。

6地域公共交通対策経費でございますが、2款1項14目にその他諸費に計上しておりました地域公共交通会議、町民バス、古川・女川間鉄道整備促進期成同盟会関係の経費を抜き出しまして新たに科目を設けたものでございます。事業概要は7ページ、昨年度からの増減についてはございません。

8地方創生事業費につきましては、当初はこちらの科目ございませんでしたが、補正のほうから載っておる細目でございます。地方創生推進会議等の経費を計上しております。

9地域おこし協力隊事業費でございます。事業概要は7ページでございます。地域おこし協力隊に係る経費を計上しておりますが、平成28年度で1名を採用しており、4月からは2名となる予定でございます。まち・

ひとラボの方々や町のいろいろな分野の方々と連携を図りながら、商品開発や観光分野等にかかわっていただき、将来の定住起業、まちおこしに期待するものでございます。終わります。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 次のページ、64、65ページをお願いいたします。

6目細目1公平委員会費につきましては、公務員の審査請求などを審査する公平委員会事務を県に委託するための負担金でございます。終わります。

○町民生活課長（高橋由香子君） 7目自治振興費行政区長関係経費ですが、行政区長の報酬等を計上しております。終わります。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 次に、8目細目1交通安全対策経費でございます。総額で1,208万7,000円でございます。交通安全の普及・啓発活動に要する交通安全指導員の報酬と年間の所要額を計上いたしております。前年度比較で59万8,000円の増となっておりますが、内訳といたしましては、専従交通安全指導員に係る人件費の増や、29年度交通安全指導隊が設立50周年になりますことから、8節②の記念品で14万円の増、それから次のページ、66、67ページになりますけれども、公用車の車検に係る費用といたしまして、12節②の手数料及び27節①の公課費が増額となったものでございます。

次の9目細目1職員福利厚生経費でございます。これにつきましては、職員の基礎健診や特定健診等に係る委託料200万円、それから嘱託職員の各種がん検診助成金として3万3,000円を計上いたしております。前年と比較いたしまして39万円の減となっておりますが、人間ドック受診者の増により、職場健診者の減によるものでございます。終わります。

○まちづくり推進課長（小野伸二君） 続きまして、10目1コミュニティ事業経費でございます。事業概要につきましては、8ページから10ページとなります。総額で947万2,000円、対前年度比で389万2,000円の増額となっております。主な増額でございますが、平成29年産分のハトムギ茶製造に係ります所要額326万円を計上しております。

次のページをお開き願います。68ページ、69ページでございます。

19節④補助交付金におきまして、4段目になります。地域世代間交流事業補助金24万円ですが、監査委員からの指摘がございまして、昨年までの事業名学校週5日制対応事業補助金からの名称変更による事業でございます。続きまして、地域活性化事業補助金100万円ですが、こちらは集会所等の整備事業に係る経費でございます。3件分を見込んでおります。

最後の段でございます。新規事業でございます。新婚新生活支援事業補助金ですが、事業概要10ページに掲載しておりますが、新たに結婚した世帯のうち、世帯所得が300万円以下の世帯の方を対象にして新居に係る費用、家賃等、または引っ越しによる費用のうち18万円を上限に補助しようとするもので、5件分を見込んでおります。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 11目土地開発基金費につきましては、利子分の科目設定、12目財政調整基金につきましては、利子分と繰り越し予定額の2分の1の積み立て、13目減債基金につきましては、黄金山工業団地で県から借り入れをしております償還準備金と利子として5,230万円を積み立てるものでございます。

なお、本予算可決後の土地開発基金の残高は1億1,000円、財政調整基金の残高は5億8,736万円、減債基金

の残高は3億1,109万9,000円となるものです。終わります。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 次に、14目細目1 防犯経費でございます。内容といたしましては、防犯灯の設置に係る経費及び電気料金等、防犯活動に要する経費でございます。本年度は1,275万6,000円で、前年より69万3,000円の減額となっておりますが、減額の主な内容といたしましては、平成29年度から町が防犯灯の設置管理をすることとしたことにより、15節工事請負費で防犯灯設置工事費300万円が新規で増となりましたが、11節⑤光熱水費で電気料金の減、それから次のページ、70ページ、71ページになりますけれども、19節④補助交付金で前年度予算措置しておりましたLED防犯灯設置補助金の減額により減額となったものでございます。防犯灯の設置工事につきましては、涌谷駅の西側の踏切付近に以前パチンコ店があった箇所から八雲児童館に向かった区間、それから涌谷中学校の表坂付近から涌谷橋までの区間を予定しているものでございます。

それから、次の2その他諸費でございますが、前年度と比較しまして4,795万8,000の減となっておりますが、先ほど企画財政課長が企画費の地域公共交通対策経費の中で説明いたしました町民バス運行委託料等の計上科目を変更したことによる減によるものでございます。終わります。

○町民生活課長（高橋由香子君） 15目消費者対策費ですが、消費者生活相談員の報酬や被害防止の啓蒙に要する費用を計上しております。終わります。

○税務課長（泉沢幸吉君） 次の2項1目税務総務費でございますが、次のページ、72ページ、73ページになります。

税務事務経費でございます。年間の所要額を計上しております。次の2目細節1 賦課事務経費でございますが、前年比で491万9,000円の減となっておりますが、3年に1度の土地の評価がえて、標準宅地鑑定評価業務委託料が今年度はなかったためでございます。終わります。

○町民生活課長（高橋由香子君） 76ページ、77ページになります。

3項1目戸籍住民基本台帳事務経費ですが、戸籍及び住民基本台帳等の事務管理に要する所要額を計上しております。同じく人権啓発経費ですが、法務省からの委託事業で、人権啓発活動地方委託事業を大崎管内市町で持ち回りで行っておりますが、平成29年度が涌谷町の当番となっております、その事業に係る費用を計上しております。終わります。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） 次に、4項1目細目1 選挙管理委員会経費でございます。ここでは選挙管理委員会委員に係る経費や参考図書等の経費になります。

次のページをお願いいたします。

2目細目1 啓発経費でございますが、11節④印刷製本費で4万4,000円を計上してございます。昨年の明るい選挙啓発ポスターコンクールにおきまして、涌谷中学校の生徒さんの作品が全国表彰を受賞いたしました。その作品をポスターにし、各行政区等に配付し、啓発を行うものでございます。

次に、6目細目1 宮城県知事選挙費でございます。680万1,000円の計上でございます。知事の任期満了につきましては、平成29年11月20日となっております。この経費につきましては、全額県支出金で措置するものでございます。

次の12目細目1 河南矢本土地改良区総代選挙費で5万円の計上でございますが、石巻選挙管理委員会が施行する河南矢本土地改良区総代選挙に係る経費でございます。任期満了につきましては、5月30日となっております。

います。費用につきましては、全額石巻市からの委託料で措置するものでございます。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 80、81ページをお願いいたします。

5項統計調査費でございます。こちらにつきましては、統計調査に係る事務的な経費、それから平成29年度に実施されます統計調査の経費が計上してございます。平成29年度におきましては、住宅土地統計調査及び就業構造基本調査が新たに予定されておまして、工業統計調査等につきましては、毎年行われるものでございます。終わります。

○議会事務局長（高橋 貢君） 6項1目監査委員経費でございます。前年比2万4,000円の増となっておりますが、監査委員に係る年間所要額をお願いするものとなっております。以上です。

○委員長（久 勉君） 暫時休憩します。再開は2時10分とします。

休憩 午後1時58分

再開 午後2時10分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（久 勉君） 再開します。

それでは、民生費。

○町民医療福祉センター福祉課長（牛渡俊元君） それでは、84ページ、85ページをお開きください。

3款1項1目細目2社会福祉事務経費ですが、事業概要につきましては、12ページからです。社会福祉事務費に係る年間所要額として3,759万5,000円で、対前年といたしまして1億7,542万8,000円の減となっておりますが、これは次の細目に出てまいります国民健康保険事業会計への繰出金を区分するために、次の細目3国民健康保険対策経費として細目を設けたためのものでございます。本年度1億6,083万3,000円、対前年比1,548万9,000円の減となっております。

次の86ページ、87ページをお開きください。

○町民生活課長（高橋由香子君） 2目国民年金事務経費ですが、国民年金の事務手続に要する経費を計上しております。終わります。

○町民医療福祉センター福祉課長（牛渡俊元君） 次の3目細目1在宅老人福祉経費ですが、1,306万2,000円で、前年対比832万6,000円の減となっております。これにつきましても、19節負担金補助及び交付金において老人保健施設事業会計負担金を細目6の介護サービス事業費として細目を設けたことによるものでございます。また、13節委託料で、高齢者福祉複合施設指定管理料として800万円ですが、社会福祉協議会と協議いたしまして、200万円の減といたしております。

細目2敬老事業経費294万9,000円ですが、敬老会等の開催経費や100歳の敬老祝金3名分を見込んでおります。

次の88ページ、89ページをお開きください。

細目3基金管理経費につきましては、保健福祉基金への積立金で、科目設定でございます。

次の細目4老人保護措置経費ですが、社会的な理由等により保護が必要な高齢者を養護老人ホームに措置入

所させるための経費です。現在16名で、年間所要額3,321万7,000円を見込んでおります。終わります。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 細目5 介護保険対策経費ですが、介護保険会計への繰出金でございます。対前年度960万3,000円の増となっております。終わります。

○町民医療福祉センター総務管理課長（浅野孝典君） 細目6 介護サービス事業費702万1,000円、昨年と同額でございます。老人保健施設事業会計負担金として基礎年金拠出金、公的負担経費に対する特別交付税分の経費の負担金でございます。終わります。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 細目7 後期高齢者医療対策経費ですが、19節負担金補助及び交付金につきましては、後期高齢者医療費に係る町の負担分12分の1を計上いたしており、広域連合の見込みにより対前年度2,367万9,000円の減となっております。

次の28節繰出金につきましては、後期高齢者医療保険会計への繰出金で、対前年度98万8,000円の減となっております。終わります。

○町民医療福祉センター福祉課長（牛渡俊元君） 次の90、91ページをお開きください。

4目障害者福祉費細目1 在宅障害者福祉費4,444万7,000円ですが、心身障害者医療費助成等の年間所要額を計上しております。

次の細目6 障害者自立支援費3億387万8,000円で、障害者の相談事業等の委託料や、障害者自立支援事業の給付費で、対前年比1,767万3,000円の増額を見込んでおります。

次の92ページ、93ページをお開きください。

2項児童福祉費1目細目3 児童手当支給経費2億2,819万3,000円ですが、児童手当支給に係る年間の所要額を計上しております。

4の保育委託経費ですが、1億2,633万2,000円で、前年度よりも1,577万7,000円の減となっておりますが、19節負担金補助及び交付金を細目7の子育て支援経費に移したための減と、それから広域入所園児の保育委託料の減額によるものです。

次のページをお開きください。94ページ、95ページになります。

細目5 子ども医療費支給経費5,603万8,000円ですが、子ども医療費助成の対象年齢を18歳までにし、所得制限を廃止したことなどにより、909万7,000円の増額となっております。

次の細目7 子育て支援経費ですが、報償費で、第3子の小学校入学祝金を計上しております。

次の細目8 児童虐待防止対策経費ですが、新たに科目を設けまして児童虐待を防止するため、児童家庭相談員の賃金等を計上しております。

次の96ページ、97ページをお開きください。

3目母子父子福祉費につきましては、それぞれ年間所要額をお願いするもので、貸付金、医療費の助成金となっております。

4目細目2の児童館運営事業費ですが、本年度は3,452万4,000円で、昨年度よりも919万7,000円の増額ですが、放課後児童クラブの対象年齢の拡大と開所時間の延長のための支援員の賃金等の増額を計上しております。

次のページになります。98、99ページ中段になります。

細目3の児童館施設整備費につきましては、小里箕岳学童保育、放課後児童クラブになりますが、旧小里幼

稚園から箕岳白山小学校体育館へ移設するための工事監理業務委託料と施設整備に係る費用並びに八雲児童館のトイレ改修に係る費用を計上しております。

次の5目細目1児童遊園管理経費につきましては、本年度は修繕料は計上しておりませんが、適宜対応していく予定です。

続きまして、次のページ100ページ、101ページをお開きください。

細目2保育所管理経費につきましては、県協議会の負担金を残し、次の細目3こども園経費に計上しております。本年度は9,671万6,000円で、昨年度よりも453万8,000円の減額となっておりますが、昨年度はさくらんぼこども園の自家発電設備設置工事等があったためのものでございます。終わります。

○町民生活課長（高橋由香子君） 104、105ページになります。

3項1目災害救助経費ですが、災害援護資金の管理システムのリース料を計上しております。終わります。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 4款衛生費1項1目保健衛生総務費細目2保健衛生事務経費ですが、年間の所要見込額を計上しており、対前年度370万3,000円の増となっております。増の主なものは、次の107ページになりますが、14節使用料及び賃借料の健康管理システムリース料で215万5,000円の増、18節備品購入費の公用車の購入で139万9,000円の増でございます。

次に、細目3母子保健事業費ですが、乳幼児検診における医師等への報償費及び妊婦1人につき14回までの妊婦健診委託料を計上いたしており、対前年度407万2,000円の減となっております。減額の主なものは、乳児用紙おむつ等購入費助成金につきましては、3款民生費の子育て支援経費へ組み替えしたため、240万円の減、13節委託料の乳児健診委託料及び妊婦健診委託料で、実績に基づく実施人数の見直しにより152万2,000円の減でございます。

次の108ページ、109ページをお開き願います。

細目4健康づくり推進経費ですが、町民の健康づくりの担い手である健康推進員319人分の報償費、健康推進員協議会への補助金、長寿健康増進事業の経費を計上いたしており、対前年度28万2,000円の増となっております。増額の主なものは、11節需用費で、長寿健康増進事業の経費26万1,000円の増でございます。

次に、細目5地域医療対策経費ですが、1次救急としての遠田地区在宅当番医制事業委託料、大崎市夜間急患センター運営費負担金、2次救急としての大崎広域病院群輪番制事業負担金、3次救急としての大崎市民病院救命救急センター運営費負担金を計上いたしております。さらに、新規に夜間の小児科を含めた初期救急医療を確保するため、石巻市夜間急患センター運営費負担金を計上しており、対前年度234万6,000円の増となっております。増額の主なものは、大崎市民病院救命救急センター運営費負担金で、患者数比率の増、収支不足額の増から69万2,000円の増、新規の石巻市夜間急患センター負担金で163万7,000円の増でございます。

次に、細目6食育推進経費ですが、幼稚園、保育園の園児とその父兄や小・中学生を対象に実施する食育推進事業経費を計上いたしており、対前年度12万4,000円の増となっております。増額の主なものは、8節報償費で、平成29年度は第3次食育推進計画の策定年度となることから、諮問機関として食育推進懇話会を設置するもので、その委員の謝礼の増でございます。また、食育推進大会等の事業推進のために食育推進協議会へ補助金を計上いたしております。

続きまして、2目予防費細目1予防接種経費ですが、乳幼児から高齢者まで対象の各種予防接種の経費を計

上いたしております。また、平成29年度から新たに乳幼児の急性重症胃腸炎を防ぐロタウイルスワクチンの全額助成経費も計上いたしております。

次の110ページ、111ページをお開き願います。

細目2結核予防経費ですが、65歳以上を対象の胸部レントゲン検査の委託料を計上いたしており、対前年度110万円の増となっております。増額の主なものは、画像のデジタル化で、委託単価の増でございます。終わります。

○町民生活課長（高橋由香子君） 3目環境衛生費、葬祭場運営経費ですが、大崎地域広域行政事務組合への葬祭場管理運営に係る負担金でございます。負担金については、対前年比較で126万3,000円の減額となっております。主な要因としては、玉造及び松山斎場の火葬炉設備修繕費の減額等によるものです。

同じく環境美化推進経費ですが、主に空き家対策協議会委員報酬等と狂犬病予防注射業務委託料などを計上しております。

次の公衆衛生組合活動経費については、公衆衛生組合連合会の活動補助金を計上しております。これらについては、主な事業概要の25、26ページに掲載しております。終わります。

○上下水道課長（平 茂和君） 細目5生活排水処理施設経費でございます。829万4,000円をお願いするものでございます。

112ページ、113ページをお開きいただきたいと思っております。

負担金補助及び交付金で、合併処理浄化槽設置整備事業補助金で、7人槽20基分の補助金828万円をお願いするものでございます。

○町民医療福祉センター健康課長（熊谷健一君） 4目疾病予防対策事業費ですが、各種がん検診、歯科健診、後期高齢者健診等の経費を計上いたしております。対前年度114万6,000円の減となっております。減額の主なものは、12節役務費で受診票や結果通知書の通信運搬費が平成29年度から医療福祉センター費に一括計上となったため、郵送料128万円の減でございます。

なお、各種保健事業の詳細につきましては、きのうお手元に配付いたしました平成29年度涌谷町保健活動計画もあわせてご参照願います。終わります。

○町民生活課長（高橋由香子君） 2項1目塵芥処理経費ですが、町内一斉清掃の経費と大崎地域広域行政事務組合への塵芥処理に係る負担金でございます。負担金については、対前年比較で3,263万円の増額ですが、震災特別交付税の負担分が増額となっているものです。

2目し尿処理経費ですが、大崎地域広域行政事務組合へのし尿処理に係る負担金でございます。負担金については、対前年比で720万1,000円の減額ですが、六の国汚泥再生処理センター焼却設備補修工事等の減によるものです。終わります。

○上下水道課長（平 茂和君） 3項上水道費、1目上水道施設費18万1,000円でございますが、黄金山工業団地に関係いたします水道事業会計負担金18万1,000円をお願いするものでございます。終わります。

○町民医療福祉センター総務管理課長（浅野孝典君） 次のページ、114ページ、115ページをお開き願います。

4項1目細目2医療福祉センター管理経費でございます。年間の管理経費を計上してございます。昨年より10.06%、264万4,000円増の2,892万1,000円の予算措置をお願いするものでございますが、主な増額の要因に

つきましては、12節役務費の①通信運搬費につきまして、昨年当初より261万1,000円増の450万円の予算措置をいたすものでございますが、先ほど健康課長がお話ししました疾病予防対策費からの個人に対する郵送通知につきましては、センター管理経費に集約いたしたところでございます。

次のページ、116ページ、117ページをお開き願います。

15節工事請負経費45万円につきましては、医療福祉センター南側駐車場区画線引き工事を予定とするものでございます。

次に、細目3看護師等奨学資金貸付事業経費でございますが、平成28年度は、継続1名、新規2名計3名の貸与を行ったところでございます。29年度につきましては、28年度に貸与した継続3名に加え、新規2名の計5名分338万4,000円の予算措置をお願いいたすものでございます。事業概要27ページに概要を掲載しております。ご参照願います。

次に、2目細目1世代館研修館運営経費1,722万5,000円でございますが、13節委託料につきましては、平成27年度から指定管理を地域振興公社にお願いしているところでございますが、指定管理料につきましては、平成28年度の運営実績をもとに公社と協議をいたし、1,579万9,000円の委託料を今回設定いたしましたものでございます。14節使用料及び賃借料につきましては、トレーニングマシン13基分のリース料142万6,000円をお願いいたすものでございます。

細目2健康パーク管理経費13節委託料48万8,000円につきましては、健康パーク東側の斜面に杉が植栽されておりますが、境界付近の民家に支障を来すおそれがあることから、障害木の伐採委託を予定とするものでございます。

3目細目1病院対策経費でございますが、繰り出し基準に基づく交付税の算定分、省エネ型照明器具の改修を行うことにより、交付されるみやぎ環境交付金並びに一般会計負担金として平成28年度当初と同程度の3億452万9,000円をお願いいたすものでございます。終わります。

○農業委員会事務局長（瀬川 晃君） 118ページ、119ページをお開きください。

6款農林水産業費1項1目農業委員会費の委員会運営経費でございますが、委員報酬の農業委員報酬につきましては、現委員の4月から7月19日までの報酬と、7月20日からの新たな農業委員11名分の報酬でございます。また、農地利用最適化推進員報酬につきましては、委嘱の日、7月20日を予定しておりますが、委嘱後の12名分の報酬でございます。9節旅費の費用弁償及び普通旅費につきましては、報酬で申しあげました各委員の旅費等でございます。

次の細目2事務局経費の1節報酬、農業委員等候補者評価委員報酬でございますが、現在応募期間中ではございますが、各委員の選考を行います評価委員の報酬4万円を新たに計上いたしましたものでございます。11節需用費の消耗品につきましては、新たな農業委員、最適化推進委員の作業着等を計上いたしましたものでございます。

次のページ、120ページ、121ページになりますが、農業者年金事務経費と農地中間管理事業経費については、年間の所要額をお願いするものでございます。対前年比で136万6,000円増額になりますが、新たな体制に伴う増額となるものでございます。終わります。

○農林振興課長（遠藤栄夫君） 2目農業総務費細目2農政事務経費でございますが、年間所要額を見込み、277万6,000円をお願いするものです。前年比155万4,000円の減となっておりますが、大きいところでは19節の

営農センター施設利用負担金を、実績に基づき70万8,000円減と見込んでいるものでございます。

次のページをお開きいただきたいと思います。

3目農業振興費細目1農業振興対策事業費1,235万2,000円をお願いするものですが、前年比221万8,000円減となるものです。19節細節③その他負担金については、所要額見込み、それぞれ実績により減額といたしてございます。大きいところでは県青果物価格安定総合補償協会負担金で、50万円の減額を見込んでおります。細節④補助交付金については、園芸特産重点強化整備事業においてミズナの4連棟ハウスとハウレンソウハウス9棟を予定し、800万2,000円を見込むものでございます。前年比43万円の増となるものです。

細目2基金管理費については、利子分の科目設定でございます。

4目畜産業費802万7,000円をお願いするものですが、前年比79万4,000円の減額となるものですが、11節から19節については所要額を見込みでお願いするものです。13節委託料で、昨年まで東電の補償でありました草刈り分3万円が補償対象外となるため、減額してございます。19節全国和牛能力共進会宮城県大会出品技術研修会負担金については、本番を迎えるに当たり研修会を開催することから、7万円を新規でお願いするものです。

次のページをお願いします。

細節4につきましては、それぞれ所要額をお願いするものでございます。昨年までみどりの総合畜産共進会補助金を交付したところでありますが、当初予算要求の段階で本年は開催するが、開催方法を変えるため、補助金は必要ないということで、15万円を減額したところでありますが、ことしもお願いしたいと決まってからお話がありましたので、今後補正をお願いしていこうと考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。21節貸付金についても、昨年同様3頭分を見込んでおります。

細目2基金管理経費28節繰入金については、3件分の148万8,000円の対象経費を見込むものです。

5目農地費でございますが、本年は2億56万1,000円をお願いするもので、前年比2,501万5,000円の増額をお願いするものです。

細目1農地事務経費については、所要額見込みにより25万3,000円をお願いするものです。

細目2農地整備事業経費13節委託料1,568万円でございますが、本年度は出来川左岸下流地区の換地業務260万円、地形図作成業務委託料1,050万円、上流地区の公共用地編入資料作成業務委託料の258万円をお願いするものです。19節負担金補助及び交付金については、細節1県営圃場整備事業負担金については、名鱈地区で850万円、鹿飼沼地区で1,572万2,000円の422万2,000円と県営圃場整備事業調査業務負担金については、出来川上流地区分として289万3,000円、下流地区分の577万5,000円の計で866万8,000円をお願いするものです。

次のページをお開きください。

細節3については、それぞれ所要額をお願いするもので、前年同額となっております。細節4については、それぞれの事業費見込みによりお願いするものですが、多面的機能支払交付金については平成29年度事業見込みにより8,747万円をお願いするもので、前年比800万円の増となるものです。

次に、細目3農業用排水路整備事業費でございますが、それぞれガイドラインに基づく負担金及び補助交付金6,378万4,000円をお願いするものです。19節細節1基幹水利施設管理事業負担金では、大貫で557万7,000円、小里で677万円、大谷地で1,900万円となり、前年比2,647万5,000円の増となるものです。次に、細節4につい

ては前年同額でございます。

6目農業振興地域整備費細目1農業振興地域整備促進事業費1節、9節については、所要額を見込みでお願いするものです。13節委託料については、平成28年度から実施しております農業振興地域整備計画の見直し業務委託料の平成29年度分373万4,000円をお願いするものです。

○生涯学習課長（藤崎義和君） 続きまして、8目1農村環境改善センター運営経費でございますが、前年度より10万6,000円の減額でございます。昨年同様の管理体制で、嘱託賃金291万9,000円をお願いするものでございます。また、11節需用費から、次の128ページ、129ページをごらんください。こちら14節使用料及び賃借料までは、施設管理に係る分でございます、前年度より見直し経費の節減を図ることにより減額になったものです。終わります。

○農林振興課長（遠藤栄夫君） 14目農村地域定住促進対策事業費細目2石仏広場管理委託料につきましては、所要額を見込み61万4,000円をお願いするものです。

15目農村整備事業費細目1農村整備事業費については、昨年同額の8万円をお願いするものです。

○上下水道課長（平 茂和君） 細目2農業集落排水事業費でございます。繰出金でございますが、昨年度から525万5,000円増の1億1,557万4,000円をお願いするものでございます。

○農林振興課長（遠藤栄夫君） 17目水田農業構造改革対策事業費細目1水田農業構造改革対策事業経費3,845万4,000円で、前年比495万7,000円の減でございますが、8節から11節までは、所要額を見込みによりお願いするものです。19節細節4補助交付金の農業次世代人材投資事業交付金につきましては、それぞれ所要額をお願いしておりますが、農業次世代人材育成交付金につきましては、昨年まで青年就農給付金と呼ばれていたもので、平成29年度は継続5名の750万円と新規1名を見込み、150万円の6名分900万円をお願いするもので、150万円の増額をお願いするものです。また、農地集積集約化対策事業補助金については、見込みにより900万円をお願いするものでございます。昨年比1,100万円の減額となるものです。次の農業経営力向上支援事業補助金につきましては、法人化支援事業として3組織を予定するものです。次の地域ブランド米創出事業補助金につきましては、本年度新たに取り組むことといたしまして、平成30年度に予定されております生産数量配分の廃止をにらみ、機能性食品向けに改良された新たな品種、金のいぶき導入するため、作付実証などの生産体制の確立及び販売促進を通じた涌谷ブランドの定着を図ることを目的に400万円をお願いするものでございます。

2項林業費1目林業振興費細目1林業振興経費19節につきましては、所要額を見込みで15万5,000円をお願いするものです。終わります。

○まちづくり推進課長（小野伸二君） 続きまして、132ページ、133ページをお開き願います。

7款1項2目細目1商工業振興対策経費でございます。9,899万6,000円で、対前年度比192万5,000円の減額になっております。13節委託料①起業家創出プログラム事業委託料といたしまして、新規に100万円を計上しております。こちらは、新たに起業や創業しようとする方や、既に起業や創業している方で苦手な部分や不足部分の再学習の機会として、eラーニング、パソコン等による学習方法によりまして1講座60分、全部で30講座を学習しようとするものです。また、ビジネスマッチングということで、3回行う予定となっております。19節④補助金交付金、3段目、中小企業振興資金貸付利子補給補助金でございます。こちら530万3,000円で、

対前年度比178万4,000円の減額で計上しておりますが、町長の施政方針で説明しておりますが、新年度より貸付利率を現在の2.0%から1.7%に0.3%引き下げる予定でございます。規則等も改正いたしまして、町負担金分につきましては、これまでどおり一般分0.5%、復興基金分0.5%の、合わせて1.0%の補助につきましては、変更はございません。終わります。

○まちづくり推進課企業立地推進室長（大崎俊一君） 続きます、細目2企業誘致対策経費となります。327万6,000円をお願いするものです。対前年比146万5,000円の増となります。増の主なものとしましては、134、135ページをお開きください。29年度は宮城県が主催いたします東京及び名古屋で開催しておりますセミナーに加えまして、一般社団法人日本経営協会が主催いたします企業立地フェアに参加する負担金の増及び企業立地促進条例に基づく補助金2件分の支出となります。以上です。

○まちづくり推進課長（小野伸二君） 続きます、3目細目1観光振興対策経費2,115万円、対前年比520万円の減額でございます。新しい事業といたしまして、8節報償費、報償金といたしまして15万円、こちらは昨年度CM大賞を受賞しておりますが、その際にかかります撮影並びに編集等につきましては、無償で行っていただいております。新年度からは編集等に要する費用相当分といたしまして、CM編集謝礼15万円を計上しております。終わります。

○建設課長（佐々木竹彦君） 続きます、136ページ、137ページをお開きください。

8款土木費でございます。当初予算総額5億6,678万5,000円で、前年度比1億2,074万1,000円の減は、橋梁補修工事等が減になったことによるものでございます。

次に、1目土木管理費で2土木総務経費でございますが、年間の所要額146万6,000円、報償費と前年並みに所要額を要望し、委託料につきましては、木造耐震診断委託料で、前年同じく2戸に、続きまして、次のページ、138、139ページの補助交付金で、木造住宅耐震診断改修工事助成事業補助金に同じく2戸を見込んでおります。

次に、1目道路橋梁総務費2道路橋梁総務経費451万2,000円は、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料等で、道路台帳更新業務委託料につきましては、前年より12万円増の150万円をお願いするものでございます。

次に、2目道路維持費でございますが、年間の所要額5,036万2,000円をお願いするものでございます。1道路維持補修事業費は、賃金、需用費、次のページ、140、141ページの委託料に1,567万円、公共施設環境整備委託料などで、使用料及び賃借料、原材料については年間の所要額をお願いするものでございます。工事請負費は、前年より107万7,000円の減の1,943万3,000円で、一本柳本町線ほかの舗装補修工事等維持管理に要する費用を計上するものでございます。2除雪経費は、今年度細目を区分して前年並みの所要額をお願いするものでございます。

3目道路新設改良費でございますが、13節委託料に2,896万円で、国の交付金事業等により、橋梁点検業務委託料等、単独費で大崩小里線、国道346号との交差点設計、篁岳山線の概略設計業務委託料などをお願いするものでございます。15工事請負費で9,360万円は、交付金事業において篁岳山線の道路改良工事、吉住長根線舗装打ちかえ工事等、町単独事業で沢1号線等の道路改良工事を行うのに要する費用を計上するものです。各工事とも通行どめする期間もありますから、地域の皆様や関係者に事前にお知らせしたいと思います。

公有財産費と次の142ページ、143ページ補償補填は、大谷地線道路改良工事、それから沢1号線改良工事の用地補償、その他補償に要する費用をお願いするものでございます。

次に、3項都市計画費1目都市計画総務費、2目公園費、3目都市下水路費につきましては、前年とほぼ同様の所要額をお願いするものでございます。

144、145ページをお開きください。

○上下水道課長（平 茂和君） 4目下水道建設費細目1下水道建設事業費でございますか、28節繰出金につきましては、公共下水道事業特別会計への繰出金で、前年度比274万7,000円減の2億6,500万3,000円の繰り出しをお願いするものでございます。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 5目土地対策費、国土利用計画法に係る事務経費でございます、県のほうから経費の一部に充てるための交付金が交付されるものでございます。終わります。

○建設課長（佐々木竹彦君） 続いて、1目公営住宅管理経費で、1,391万5,000円、旅費、需用費、役務費、原材料については、年間所要額をお願いするものでございます。主な増額のもの、工事請負費に985万9,000円で町営沢住宅の解体工事に要する費用でございます。

2目住宅建設費補助金では、新たに災害公営住宅に引っ越される方がいるのを1戸見込み、5万円を計上するものです。終わります。

○総務課参事兼課長（渡辺信明君） それでは、次のページ、146ページ、147ページをお願いいたします。

9款1項1目細目1常備消防経費で、2億5,240万1,000円の計上でございまして、19節②で大崎地域広域行政事務組合への負担金でございます。前年度と比較いたしまして3,002万4,000円の増額となっております、このことにつきましては、町長の施政方針でも申し上げましたが、消防本部庁舎建設整備事業に係る分でございます。

次に、2目細目1非常備消防経費でございます。ここでは消防団活動に要します年間所要額を計上しております。本年度は3,209万8,000円で、前年と比較しますと424万1,000円の減となっております。この要因といたしましては、隔年で実施しております操法大会に係る経費の減及び11節②消耗品の減によるものでございますが、この消耗品では29年度におきましては県の振興総合補助金を活用いたしまして、耐切創グローブやヘルメットを購入する予定でございます。事業概要につきましては、46ページに掲載しております。

次のページをお願いいたします。148、149ページでございます。

3目細目1消防施設維持管理経費1,052万9,000円の計上でございます。消防ポンプ置き場や防災行政無線の維持管理等に要する経費でございます。前年度と比較いたしまして118万2,000円の増額でございますが、12節②の中ごろにあります同報系防災無線固定局免許更新手数料及び防災無線テレホンサービスの回線増設手数料で増となり、上にあります①通信運搬費におきましても増額となったものでございます。

次の2消防施設整備事業費でございますが、前年度と比較いたしまして509万6,000円の減となっております。減額の内容といたしましては、18節消防用備品購入費の減や19節その他負担金で、昨年度計上いたしておりました消火栓設置工事負担金の減によるものでございます。

次に、4目細目1水防対策経費でございます。水防費につきましては、河川防災ステーションの維持管理に要する年間所要額を計上しております。前年と比較いたしまして、28万5,000円の減額でございますが、11節

光熱水費や昨年度計上いたしておりました通信運搬費の減によるものでございます。

次に、5目細目1地域防災計画策定経費でございますが、防災・水防会議に係る経費を計上いたしております。

次のページをお願いいたします。

細目2災害対策経費でございますが、総合防災訓練に要する経費や協力団体への補助金等を計上いたしております。前年度と比較いたしまして494万4,000円の増となっております。内容といたしましては、消耗品や昨年度計上いたしておりました防災訓練時の賄い材料費、それから涌谷町ハムクラブへの補助金で減額となりましたが、13節委託料で新規事業といたしまして、防災マップの作成委託料、それから19節③その他負担金で、防災アプリ利用負担金の増により、増額となったものでございます。防災マップにつきましては、施政方針でも申し上げておりますが、これまでの洪水ハザードマップや地震防災マップのほか、風水害対策、それから地震対策等も掲載したもので、サイズはB4判ということで、この予算書よりも一回り大きいということで、どこに置いても目につきやすくなるのではないかと考えております。また、防災アプリにつきましては、おおさきエフエムさんのほうで防災アプリ事業を展開することで、それを利用させていただくものでございます。事業概要につきましては、46ページ、47ページのほうに掲載してございます。

次の細目3国民保護経費でございますが、ここでは国民保護協議会の開催に係る経費を計上いたしております。

次の細目4原子力災害対策経費でございますが、放射性物質の測定に係る臨時事務職員の賃金等、年間の所要額を計上いたしております。前年度と比較いたしまして、174万3,000円の減となっておりますが、臨時職員1名の減、それから放射性物質測定器の台数減により、7節臨時事務職員賃金及び12節②放射性物質測定器保守点検手数料が減になったものでございます。終わります。

○委員長（久 勉君） 暫時休憩します。再開は3時10分といたします。

休憩 午後2時59分

再開 午後3時10分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（久 勉君） 再開します。

教育総務課長。

○教育総務課長兼給食センター所長（木村 敬君） 150ページ、151ページをお開き願います。

10款教育費でございます。まず、ご説明いたしますが、教育費の予算につきましては、財政担当と協議の結果、平成29年度当初から予算については効率よく管理する目的で、科目の新設等を変更をかけております。教育委員会で管理支出する経費と各施設で管理する経費を明確にするための整理を行っております。その上で今後はなおさら適切な予算管理に努めたいと思っております。では、説明に入らせていただきます。

委員会運営経費につきましては、教育委員会の運営経費ございまして、昨年度より43万6,000万円の増額となっております。これは昨年12月より新教育委員会制度が発足したことに伴いまして、委員長の報酬減額と、

昨年は補正で計上いたしました会議録調製業務委託料の増額によるものでございます。

続きまして、152ページ、153ページをお開き願います。

下になりますけれども、事務局経費でございます。これは教育委員会の総務的な管理経費でございます。本年度は3,447万5,000円の計上で、昨年度よりも8,523万1,000円の減額となっております。主な要因といたしましては、振興費からの組み替え、それから新設した遠距離通学対策経費、教育財産管理経費の組み替えによるものでございます。

次、154、155ページをお願いいたします。

ここでは、新規事業といたしましてこころのプロジェクト事業、これについては委託料でございますが、54万円と就学応援交付金、これも委託料でございます。555万5,000円を計上いたすものでございます。こころのプロジェクト事業につきましては、主な事業概要にも48ページに掲載しております。この事業は、日本サッカー協会へ委託し実施するもので、事業内容といたしましては、子供の心身の健全な成長に寄与することを目的に取り組む活動です。Jリーガーや各スポーツで、日本代表などで活躍した新旧選手が夢先生として小学校の教壇に立ち、フェアプレー精神や夢を持つことの大切さ、それから挫折、失敗に負けない心の強さなどを子供たちに伝えます。その後、夢シートというものに児童の夢や目標を書き込んでもらい、それに対して夢先生が直接メッセージを届けるという内容の事業でございます。事業予定量は、町内各小学校5年生を対象に129名を予定してございます。今後実施時期等を検討してまいる予定でございます。

次に、事業内容を変更してございます。やはり委託料でございます中学生の海外研修委託料についてご説明いたします。

これにつきましても、主な事業概要を48ページに載せてございます。これまで研修の参加負担金は、昨年ですと約15万円の自己負担でございました。今回個人負担を5万円程度に引き下げ、金銭的な理由で申し込みをためらうことのないよう、参加しやすい環境を整えるものでございます。事業量といたしましては、町内の中学生10名を予定してございます。予算といたしましては、前年から26万円減額となっております。

次に、やはり新規事業ですが、補助交付金の就学応援交付金でございます。これにつきましても、主要事業の49ページに掲載してございます。事業内容は、子育て世代の教育費の負担増が叫ばれておりまして、家計状況の悪化から子供たちの学力等に影響を及ぼす可能性があることから、小・中学校の学級費相当分の一部を交付するという内容でございます。交付単価を1名当たり5,000円といたしまして、町内の小学生714名、それから中学生397名に交付することを予定してございます。成果といたしまして、義務教育家庭の教育費の負担軽減が図られることが期待されます。予算としましては、555万5,000円でございます。

それから、一番下、細目3奨学資金貸付事業でございますが、本年度938万6,000円の計上でございまして、昨年より326万4,000円の減額となっております。これにつきましては、継続貸付者で償還が終了した方が多く、昨年度の22名から現在の貸付者は13名に減ってございます。

なお、新規に貸付を予定している人数は、昨年と同様の10人を予定してございます。

156、157ページをお願いいたします。

細目4遠距離通学対策経費につきましては、科目の新設で、スクールバス関係の委託費、消耗品費を事務局経費から組み替えたための全額増でございます。

細目5 学力向上対策経費につきましては、夏休み、冬休みの小・中学生の学び支援教室の経費、それからスクールソーシャルワーカーに関する経費でございます。今年度は313万4,000円の計上でございまして、昨年度から26万3,000円の減額です。第一小学校で実施しておりました学力向上研究指定事業が終了したことによる減額でございます。

細目6 教育財産管理経費につきましては、科目の新設でございます。統合になりました旧小里小学校、旧篁岳小学校の管理に係る経費を教育委員会事務局経費から組み替えたことによる全額皆増でございます。

158ページ、159ページをお願いいたします。

2項1目細目2 小学校学校管理経費でございます。教育委員会で管理支出する小学校全体の管理運営経費でございます。臨時職員に係る経費、建物修繕に係る経費等を計上しております。今年度1,086万6,000円に対しまして、昨年度より2,786万3,000円の減額となっております。主な要因は、予算科目を整理したためでございます。教育振興経費、教育委員会事務局経費組み替えたことによります。その他の内容としては、特別支援を要する児童の増加に伴い、特別支援補助員を3名から7名へ4名増員するための経費、それから修繕費の減額等でございます。

次、細目3でございます。小学校施設整備費でございます。科目の新設でございます。1,900万円皆増でございます。月将館小学校プールのろ過装置が老朽化しているため、比較的新しい旧篁岳小学校のプールのろ過装置を移設すること、それから老朽化したプール門扉の交換をする予算でございます。また、篁岳白山小学校の外構工事につきましては、年次計画より昨年から実施いたしておるもので、今年度は駐車場の舗装、それから駐車場の区画線引き、自転車置き場撤去、フェンス設置工事などを予定してございます。

160ページ、161ページをお開き願います。

2目細目1 小学校教育振興費でございます。この科目は各学校で管理支出する教育振興費用でございますが、本年度は2,892万5,000円でございます。昨年度よりも1,905万3,000円の減額となっております。これは小学校管理経費からの組み替えによる増、それから小学校課外活動、教育委員会事務局経費への組み替えによる減額が主な要因でございます。

その他の内容といたしましては、需用費で152万9,000円、備品購入費で95万9,000円、建物保険で57万円でございます。前年度より305万8,000円減額となっておりますが、その他はほぼ前年度と同様の内容でございます。

162、163ページをお願いします。

細目2 小学校課外活動経費でございます。マーチングバンドの活動経費につきまして、科目の新設を行い、小学校管理経費から組み替えたものでございます。皆増でございます。昨年度と同様の予算水準でございます。

続きまして、3項1目中学校管理経費でございます。164、165ページをお開き願います。

細目2の中学校管理経費でございます。この科目は、教育委員会で管理する経費で、今年度は412万5,000円、昨年度よりも1,460万1,000円の減額となっております。これは、中学校教育振興費へ組み替えを行ったためと、昨年補正で対応いたしました臨時事務職員1名と、支援児に対応するため1人分で見込んでおります中学校の特別支援児補助教員について、332万5,000円増額する内容でございます。続きまして、外国青年招致事業経費につきましては、毎年海外青年を招致する経費でございます。昨年度より82万7,000円減額しております。

が、これはジェットプログラムからの契約を業者委託へ切りかえたことによる減額でございます。

続きまして、2目細目1中学校教育振興費でございます。164ページ、165ページから、166、167ページにまたがっております。今年度は1,765万8,000円でございます、昨年度より387万1,000円の増額でございます。管理経費からの組み替えによる増額と、中学校課外活動経費、教育委員会費への組み替えによる減による相殺という内容でございます。その他の内容としましては、需用費で前年度より223万1,000円減となっております。ほかは例年と同様の内容でございます。

166、167ページをお願いします。

下になります。細目2中学校課外活動経費で、科目の新設でございます。これにつきましては、中学校の中体連や吹奏楽大会などへの活動経費でございます、昨年まで200万円の補助金を支給しておりましたが、今年度はそれぞれ経費を分けて計上したという内容でございます。全体で40万4,000円の減額となっております。

168、169ページをお願いいたします。

細目2幼稚園管理経費でございます。幼稚園全体の管理運営経費でございますが、経常的な経費は昨年度とほぼ同じです。全体の予算額としましては、今年度1,786万5,000円でございます、前年度に比べ827万5,000円の減額となっております。これは昨年度までさくらんぼこども園に係る経費の幼稚園全体の経費を計上しておりましたが、今年度から3款に新設されたこども園経費に組み替えたための減額でございます。

170ページ、171ページをお願いいたします。

工事請負費として、涌谷幼稚園の門扉が老朽しておりますので、交換をいたす内容でございます。

次に、細目4預かり保育事業経費でございます。前年度と同様、全幼稚園で預かり保育を実施いたします。7節臨時賃金で増額になっておりますが、これは昨年南幼稚園で10月から預かり保育を開始いたしましたのですが、今年度は年度当初から賃金を計上する形になるもので、372万6,000円の増額でございます。終わります。

○町民医療福祉センター福祉課長（牛渡俊元君） 細目5幼稚園保育委託経費でございます。44万2,000円ですが、これは他市町村の幼稚園の保育の委託料になっております。終わります。

○生涯学習課長（藤崎義和君） 172ページ、173ページをお開きください。

5項社会教育費1目2社会教育事務経費でございますが、前年度より189万3,000円の減額でございます。主に青少年健全育成、それから家庭教育学級に係る経費と大崎地域広域行政事務組合負担金が、大崎パレットのプラネタリウム更新が終了したことにより、減額となったものでございます。事業概要については51ページをごらんください。

続きまして、174ページ、175ページをお開きください。

また、社会教育費のほうでございます。放課後子ども教室推進事業と、協働教育プラットフォーム推進事業の実施に係る元気わくやふれあいまちづくり補助金185万5,000円、前年度まで文化財保護経費に計上しておりました民俗芸能保存育成事業補助金を見直しまして、新たに伝承芸能保存育成事業補助金を社会教育事務経費に計上したものでございます。

それから、2目2公民館運営経費でございますが、前年度より107万2,000円の減額でございます。主に公民館管理運営のための所要額、平成28年度実績を勘案して計上しております。

176ページ、177ページをお開きください。

今年度も婚活事業を年2回予定し、委託する経費をお願いするものです。

続きまして、3目文化財保護経費でございます。こちらは前年度より99万5,000円の増額でございます。178ページ、179ページをお開きください。前年度は6月に補正しました天平ろまん館の企画展示委託料を平成29年度は当初予算に計上したことによるものです。また、ほかに涌谷の文化財の改訂を予定しております。こちら見龍廟関係で、分冊という形で予定をしたいと考えております。それから、見龍廟の保全に関する経費と埋蔵文化財標柱設置を2カ所今年度も予定しております。

それから、178ページ、179ページでございます。

2歴史公園管理経費については、保全管理に要する経費をお願いするものでございます。4目史料館管理経費、それから、次の180ページ、181ページにかけましての、くがね創庫管理経費につきましては、施設管理に要する経費と企画展を開催するための経費をお願いするものでございます。事業概要につきましては、54ページになります。

それから次に、182ページ、183ページをお開きください。

こちら6項1目2保健体育事務経費でございますが、前年度より160万5,000円の増額でございます。主にスポーツ推進委員の報酬、社会体育推進員の謝礼、平成29年度は旅費でございますが、B&G海洋センターの指導者研修、この経費を1名分見込んでおります。また、地域総合型スポーツクラブを4月に設立する予定でございます。その運営経費につきまして、体育協会の補助金の中に入れ、今後は体育協会と連携をとりながら事業を進めてまいりたいと考えております。終わります。

○教育総務課長兼給食センター所長（木村 敬君） 184、185ページをお願いいたします。

細目2目給食センター運営経費でございます。安心安全な学校給食を提供するための経費でございます。今年度は1億1,435万8,000円の予算で、昨年度より275万6,000円の増額となっております。主な内容といたしましては、次のページ、186、187ページにありますけれども、施設の老朽化による電気保安設備の改修工事でございます。366万6,000円計上いたしております。そのほか増減はございますが、前年とほぼ同水準となっております。終わります。

○生涯学習課長（藤崎義和君） 3目1体育施設管理経費でございます。前年度より762万円の増額でございます。

合計3,091万5,000円を計上させていただきました。主に体育施設の管理のための所要経費と、次の188ページ、189ページをお開きください。今回はB&G体育館の耐震診断の委託料、これは県の3分の1の補助があります。それから、勤労福祉センターの消火設備の設置工事、これにつきましては、消防点検で指導、指摘を受けました福祉センターの消火栓のふぐあいによる代替品としてパッケージ型の、ボックス型の消火設備を導入する予定でございます。それから涌谷スタジアムの内野土入れかえ工事を予定しております。終わります。

○企画財政課参事兼課長（今野博行君） 12款1項1目1長期債元金でございます。対前年度9,792万1,000円の減でございますが、こちらには財源内訳にございますように、借換債が含まれております。

2目1長期債利子及び2一時借入金利子でございますが、1,607万9,000円の減になっております。

なお、地方債の現在高調書及び詳細につきましては、予算書210ページから223ページに記載しておりますが、平成29年度末現在高見込みにつきましては、平成28年度末現在高見込みから2億4,316万8,000円減の65億

9,891万8,000円となる見込みでございます。

190ページ、191ページ、予備費でございます。こちらにつきましては、1,000万円を計上いたしております。

以上で歳出の説明を終わります。



◎延会について

○委員長（久 勉君） 以上で議案第24号 平成29年度涌谷町一般会計予算の説明は終了いたしました。

お諮りいたします。

本日はこれをもって延会したいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（久 勉君） 異議なしと認めます。

よって、本日はこれをもって延会することに決しました。



◎延会の宣告

本日はこれで延会いたします。

ご苦労さまでした。

延会 午後3時35分